

開 議

○小関勝助議長 おはようございます。

これから本日の会議を開きます。

本日の会議に欠席の通告議員は、ございません。

よって、ただいまの出席議員は定足数に達しております。

本日の会議は、配付しております議事日程第3号をもって進めます。

日程第1 市政一般に関する質問

○小関勝助議長 日程第1、市政一般に関する質問を昨日に引き続き行います。

それでは、順次ご指名いたします。

町田義昭議員の質問

○小関勝助議長 順位6番、議席番号10番、町田義昭議員。

(10番町田義昭議員登壇)

○10番 町田義昭議員 おはようございます。

おはようございますという挨拶で一般質問するのは久しぶりでございます。大概私も皆さんも眠りを覚えたころの時間帯にほとんどやっておりますので、すがすがしい気持ちでできますし、聞く側もすがすがしい気持ちで聞いてくれるのではないかなと、そんなように思っておりますのでございます。

私は、ことしになって意外と心配的な言葉を

地域の皆さんと話をしたりしておるんでありますけれども、このたびは余りそういうマイナス思考でない感じ方をしていることが一つございます。それを紹介したいなと思います。

期待をしているのは、ささやかなんですけども、去年、道照寺平に、梅津議員に種子をいただいたコスモスが生まれました。そして育ったんでありますけども、本当にわずかなコスモスですけども、ことしはどのようなのかなということで期待をしております。その期待感いっぱい今いるんですけども、ただし、今、除草剤というものがありますので、それを知らないでかけられてしまうと一発でだめになるという要素も含んでおりますので、そうしたものはどのようにしてクリアできるのかなと今思っております。

また、私は道照寺平スキー場の通年利用というものをやるべきでないかなと、あれはやったほうがいいのではないかなということをずっと申し上げてきましたし、そしてその中で、長井市の絶景というのはもしかするとたくさんあるのかもしれないけども、その中で熊野の山から見た長井市市内の絶景、あるいは百秋湖を取り巻く状況というものは本当にきれいだということで、ぜひ市民の皆さんに体験をしてこの目で確かめていただければ、長井をさらにいいまちだなということを実感できるのではないかなということを申し上げてきました。それがようやく行政のほうでも動いていただいたのかわかりませんが、このたびの市報の中で、熊野の山に登りませんかという募集が出ておりました。これは花スポのほうでやっていただいたんだそうでございますけども、本当にいいことだなと、そう思いました。登った方は必ず感動するのではないかなと、そのように思っております。また、カメラを愛好家の皆さんは、私も時々見ましたけども、あそこへ行っていい写真を撮ってきたよということで紹介していただいたり写真を頂

戴したり、そんなこともしているわけで、本当にささやかで身近なことなんですけども、長井市にあるものを発見するという事は長井市の市民として大事なことでないかなと、そんなように思った次第でございます。そういうちょっと前置きをしまして、一般質問に入らせていただきます。

長井市のまちづくりが後世に負担の少ないことを願いながら一般質問をさせていただきます。

既にご案内のとおり、地球規模での環境の気象問題について議論され久しいわけでありましてやその間、何ひとつ改善されないまま、年を追うごとにPM2.5のような新しいものが出現しております。そのような世界状況でございます。

このたび、第3次長井市環境基本計画が示されました。平成9年に1次、平成17年に2次計画が作成されております。自然環境に恵まれた長井市を考えたとき、余り関心を示さなかったことに、今、自分を反省しておるところでございます。計画の基本事項では、第1次、第2次計画の基本理念を継承してとあります。1に物は使い捨てでなく循環させる循環の理念、2つに自然の営みを大切に共生の理念、3つに環境をよくする仕組みをつくる協働の理念と、3本の柱でできております。この環境計画は持続可能なまちづくりの基本であり、先人から受け継ぎお借りしている住みやすい、よき郷土を汚すことなく後世に送り届けることが今の私たちの使命であり、責任であると考えております。

質問に入りますが、温室ガス排出抑制などに関する主な課題の中で、環境行動の実践や地球温暖化問題の関心を高めるため、イベントや学習会の開催などの普及啓発が必要であります。前回までの活動を紹介していただき、今後事業所、気象団体、そして市民レベルにどのような方法があるのかお聞かせください。

次に、温室効果ガス削減と石油代替エネルギー

の導入のために太陽光発電などの再生可能エネルギーの利用やバイオマスなどの利用促進が望まれます。そのための太陽光発電システムなどの設置に対する補助制度の充実が必要ですが、既に当市においては小水力発電やバイオマス発電の実践自治体として取り組んでおりますが、太陽光発電に関して市独自の制度を考えておられるのか、お聞かせをいただきたいと思っております。

次に、市民、事業者の積極的な環境行動の実践を促すために、行政による率先行動、率先導入が必要であるとありますが、当市においては光熱費の削減にもつながるLED照明への交換を積極的に行っていますが、目標に対する進捗をお聞かせをいただきたいと思っております。

次に、自然との豊かな触れ合い、環境に配慮したまちづくりでは、都市公園の安全面の改善や植栽木の手入れを適時行っており、施設の老朽化対策を初め、より訪れたい公園とすることが望まれますとあります。私の見る限りでは、松ヶ池公園、あやめ公園の木には何十年も床屋さんに来ていただけていないと思っております。また、公園全体が樹木で覆われ、太陽の光が地面に降り注がれなく、自分で支え切れない樹木もあるのではないかと心配しております。また、街路樹に関しては、危険と思われるものは整理され、花壇にされておるようではありますが、一部路線に手がつけられない状態で、景観上はもちろんでありますが、突風、竜巻などによる倒木が心配であります。また、秋の落ち葉は風が運んでくれるのを待っているかのようです。こうした状況について、考え方をお聞かせください。

この項目の最後になりますが、自然環境の保全対策は生活の多様化、就業体系などの変化により、除草剤の使用が多くなりました。農業関係から始まり、今では全市民的な利用になっているようでもあります。これからの国土の保全は、

除草剤抜きでは語れないのが現状であります。今までは草木の根が国土を守ってきたわけですが、根が枯れた状態では鉄筋の入らない建物と同じで、土壌の侵食、流出や水路などのコンクリート製品の劣化など、将来の維持管理は予想以上の財政負担を生じるのではないかと考えております。将来に向けた準備、対応などがありましたらお聞かせください。

次に、大きな2番のふるさと祭り東京について質問をいたします。

このイベントの主催はフジテレビ、文化放送、東京ドームで、ことし1月10日から19日まで、東京ドームで開催されております。全国各地の祭りとうまいもんがコラボレーションされながら、地域の文化、芸能やB級グルメ、地酒、地ビール、多種多様のスイーツが勢ぞろいするのだそうです。たまたまテレビで紹介があり、すごいと感じました。後に企画調整課長に、ぜひ職員を研修させてはいかがですかと問いました。早速応えていただき、参加して下さったようでございます。この機会に状況を報告していただき、今後の長井市の観光行政に生かせればと思っておりますが、これに関してご意見をお聞かせいただきたいと思います。

壇上からの質問はこれで終わります。ありがとうございます。（拍手）

○小関勝助議長 内谷重治市長。

○内谷重治市長 おはようございます。

町田義昭議員のご質問にお答えいたします。

議員から大きく2つご質問いただきました。ご質問というより、ご提言を含め、いろいろご意見を頂戴したところでございます。

まず、最初の第3次長井市環境基本計画からということで5点ほど、ご提言も含めてご質問いただいておりますので、順次お答え申し上げます。

まず最初に、温暖化問題への関心を高めるためのイベントや学習会などの普及啓発が必要と

あるが、その具体策はどうなっているのかということでございます。

これは町田議員ご指摘のとおり、第3次環境基本計画では、温室効果ガス排出抑制などに関する主な課題の項で、地球温暖化問題への関心の向上、積極的な環境行動の実践を掲げまして、地球温暖化問題への関心を高めるためのイベントや学習会開催などの普及啓発が必要としております。これまでは長井市衛生組合連合会の事業といたしまして、地球温暖化防止に関する環境講演会、また、小・中学生を対象とした環境ポスターコンクール、また、衛生組合連合会と中央衛生組合との合同視察研修会を開催するなどして、主に衛生組合の関係者の皆様、また市内の小・中学生に、そういった普及啓発活動を実践してきたところです。このうち環境講演会については、毎年同じような話ということでマンネリ化してはならないかというご指摘もあって、昨年度は実施されず、今年度も現在のところ実施の計画はないという状況です。

この環境講演会など、学習の機会については改めて構築していかなければならないというふうに考えておまして、議員からのご指摘によりまして、ぜひ衛生組合連合会を含め、環境に関する団体等の皆様からいろいろなご意見をいただいて検討していかなければならないと考えております。

また、第3次環境基本計画にも記載されておりますが、本市の場合、地球温暖化対策推進法に基づく地球温暖化対策地域協議会が、これは設置義務がないということで設置されておられません。そんなこともあって、地球温暖化対策の受け皿の整備が不十分ではないかと思っております。今後、衛生組合連合会などのほか、地球温暖化対策地域協議会の設置なども含めて、地球温暖化対策の推進方法の検討が必要であるというふうに思います。

次に、2点目の太陽光発電システムなどの設

置に対する補助制度の充実についてということへの質問でございますが、太陽光発電に関する市独自の制度としては、再生可能エネルギー設備導入事業費補助金というものを今年度から実施しております。この再生可能エネルギー設備導入事業費補助金については、昨年度までは国と県の制度だけでございまして、長井市の単独事業としては実施しておりませんでした。しかし、昨年度の第3次長井市環境基本計画の策定に当たり、生産活動や生活環境全般について、それぞれの立場から環境に配慮した循環型のまちづくりを目指し、省資源、省エネルギーや再生可能エネルギーの利活用を推進することを重点的な施策目標に掲げたことを受けまして、今年度から長井市単独の再生可能エネルギー設備導入補助金制度を新設したものでございます。

具体的には、県が単独で実施しております再生可能エネルギー設備導入補助金の一部に上乘せする形態にしてございまして、太陽光発電設備につきましても、1キロワット当たり2万円、上限で10万円です。それから、木質バイオマス燃料機器、例えばこれはペレットストーブ、まきストーブなどということになるわけですが、これについては設置工事費用総額の3分の1、これは上限7万円ということを補助することとしております。6月6日現在で、太陽光発電設備が2件、まきストーブ1件の交付申請を受け付けております。今年度当初予算においてはそれぞれ10件分の予算措置をしておりますが、今年度も含め、以降の対応については、交付申請状況などを勘案しながら対応していきたいと考えております。

次に3点目でございますが、光熱費の削減につながるLED照明への交換は順調に進んでいるのかというご質問でございます。

平成25年度から実施しております防犯灯のLED化事業については、地域の元気交付金や電源立地促進対策交付金を活用したほか、通常の

修繕により、平成25年度末までに911カ所の防犯灯をLED照明に交換しております。今年度は国庫補助金の電源立地促進対策交付金779万円と県補助金の電源立地地域対策交付金440万円を活用するなどして、640カ所の交換を予定しております。

この防犯灯LED化事業は平成25年度から平成29年度までの5カ年間を想定しておりますが、今後新設する予定の防犯灯も含め、今年度末で全体の52%がLED照明になる見込みであり、今後も電源立地地域対策交付金の活用などによりまして、遅くとも平成29年度末までに全ての防犯灯をLED照明に交換できるように推進してまいりたいと考えております。

なお、今年度末の防犯灯の総数、これは新設も毎年5基程度新設しておりますので含めると、3,027基が今年度末の防犯灯の総数になる予定でございますけれども、うち全体の52%がLED化なるということでございますので、1,584カ所、これがLED化なるという見通しでございます。

続きまして、4点目の都市公園の植栽木の手入れが適時に行われているか、また、安全面からの街路樹に不安はないのかというご質問でございます。

まず、こういった都市公園、特にこれは河川公園なども含めてでございますけれども、維持管理費用、これは道路の維持、市道の維持管理費なども含めてでございますが、町田議員ご存じのとおり、15年間にわたる行財政改革の中で、特に最後の平成18年から平成22年の集中改革プラン、この5年間の中で、それ以前にも相当維持管理費は削減してきたのに加えて、このときは特にマイナスシーリングをずっと続けてきました。マイナス20%シーリング、一律にぼおんと削って、それからその年はそれにさらに加えてマイナス5%とかずっとしまして、平成10年ごろの維持管理費から含めて、もう既に平成22

年の集中改革プラン終わるころには半分、あるいは3割ぐらまで減っている維持管理費などもあったということで、ご指摘のとおり、大変公共施設などの維持管理もほとんど経費をかけずに放置していたと、放置せざるを得なかったという状況がございました。23年以降、順次少しずつ正常な形に戻そうということでプラスしてきておりますが、まだまだ15年前とか20年前から比べると維持管理費が少ない状況ではないのかなというふうに思っております、これらについては適正な維持管理費の確保に今後とも努めてまいりたいと思います。

ご質問のところでございますが、都市公園はそれぞれの用途から、あやめ公園と松ヶ池公園、これはつつじ公園のところですが、ここは観光振興課で管理しております。四ツ谷公園、清水町公園、幸町南公園は子育て支援課、寺東中央公園と最上川河川緑地公園はまち・住まい整備課で管理を担当しております。平成24年度に行った公園長寿命化計画の健全度調査対象となった遊具や街灯、ベンチなど、調査対象になったものは公園長寿命化対策支援事業を活用し、計画的に修繕を図ってまいります、日常においても各所管での点検を充実させまして、安全を確保してまいります。ご質問の樹木は事業の対象になっていないということなのですが、議員のご指摘を受け、各所管において適正な公園管理の保持と安全の確保のための維持管理を行ってまいりたいと思います。

そこで、観光振興課管轄の部分をお答えしたいと思います。松ヶ池公園やあやめ公園の樹木の中には、ご指摘のとおりかなり大きくなっている木もございます。ボランティアや造園業者などで毎年剪定や枯れ枝の処理などを行っていただいています。現在も、あやめ公園の松の剪定作業が進行中でございます。また、倒木の可能性がある樹木は、予算を確保して伐採などを行っています。ことしは図書館前の柳の木が枯れ

かかっておりましたので、一部処理しました。このように安全面を考慮して管理に努めていますが、歴史のある公園なので年数を経た樹木が多くなり、年々手がかかるようになってまいりました。今後はあやめ公園全体の整備が課題になってきております。特にあやめ公園の北入り口部分、南入り口、中央入り口と東口ですか、そちらについては平成8年からのたしかあやめ公園の都市公園改造事業で新しく整備し直しておりますが、北口のほうを整備していないということもありまして、今後どうするかというのが都市公園長寿命化での課題の一つかなというふうに思っておりますが、ぜひ議員にもアドバイスをいただく機会が出てくると思いますので、いろいろご意見を出していただきたいというふうに思います。

現在までは、ことしは少し予算をつけてますが、議員ご指摘のとおり、あやめ公園とつつじ公園はボランティアで何年かに1回、植木屋さんたちの組合があるわけですが、その方たちのボランティアのときしか、いわゆる床屋には行ってないという状況でしたので、これからはそういったボランティアをいただく方々に加えて、市のほうでも定期的に整備をしていくという考えであります。

次に、今度は建設課サイドのほうの整備の状況でございますが、現在、市道にはあやめ公園線など4路線、これはあやめ公園線と幸町中道線、これはあれですね、百間通りということになるかと思いますが、西裏線、時庭駅前線ということで、街路樹が植栽されております。現在の主な管理といたしまして剪定、これは街路樹剪定等業務委託料が226万3,000円予算化しております。2点目が雪囲い、植栽松の除草、街路樹植地除草等業務委託料79万2,000円。そして、3番目が枝枯れ、枯れ枝、枯れ木、倒木等の伐採撤去、枯れ葉等の除去などを行っています。台風や強風の際は道路パトロールを強化いたし

まして、倒木等の道路障害物撤去など、通行の安全確保に最大限努めているところでございます。また、路線によっては植栽や道路清掃など、地区や企業のボランティアの協力をいただいております。ここ5年ほど人や車両などに対する被害はございませんが、ご指摘のとおり、枝が大きくなり過ぎて管理が困難になっている路線や根が舗装を隆起させている箇所などもございまして、枝の伐採や管理方法について検討し、適切に対応してまいりたいというふうに考えております。

この1番目の質問の最後、(5)の除草剤使用時代における対応はということでございますが、道路、水路等ののり面や畦畔への除草剤の使用については、環境への影響やのり面崩壊の要因となり、課題になっております。労働力不足や長いのり面においては草刈りが困難となり、どうしても除草剤を多用しているというのが、ご指摘のとおり現状でございます。現在、山形県では、全県エコエリア構想によりまして、環境に配慮した環境保全型農業の推進を図っております。それに伴い、持続性の高い農業生産方式の導入の促進に関する法律によるエコファーマーの認定を推進し、環境に優しい農業を進め、畦畔等の除草においては機械による草刈りを推進し、圃場内においても農薬や化学肥料を抑えた栽培により、より安全な安心な農産物の提供を図ろうとしております。また、農地・水保全管理支払交付金事業、名称が今年度から変更され、現在は多面的機能支払交付金事業となっておりますが、本事業においては、農道や水路ののり面の草刈りを行った場合、交付金の対象となることから、市内各地区で取り組んでいただいております。さらには、畦畔の補修においても交付金の対象となり、積極的に取り組んでいただいております。また、農道や水路ののり面に防草シートを張り、背丈の伸びない植物を植栽し、除草や草刈りそのものの削減を図ろうと、

試験的にはありますが取り組んでいるところでございます。さらには、水路、農道等の維持管理においても多面的機能支払交付金事業が対象となるため、維持補修や長寿命化に取り組んでいただきたいと思っております。ぜひ、町田議員からご提言いただきましたように、除草剤については基本的に使わないというような管理方法をいろいろ検討していかなければならないというふうに思います。

続きまして、大きな質問の2点目、ふるさと祭り東京を見学しての感想ということでございます。

まず、感じたことは何か、当市の参加は考えられないかということで、企画調整課長のほうが議員からのお勧めもあって、たまたま出張の時期と重なったため見てきたということ聞いておりますが、私のほうからは、長井市の参加は考えられないかということでお答え申し上げたいというふうに思います。

このイベントは、日本の祭りとふるさとの味をテーマとして、毎年1月に東京ドームを会場に開催される大規模な物産展であり、10日間で40万人の来場者があるということ、これは町田議員からもお聞きしたところでございますが、残念ながら私はこのイベントを訪れたことはありませんが、町田議員から企画調整課へ情報をいただいた後に、出張で上京した職員が前回の様子を視察しており、その状況を報告受けているところです。

全国各地のご当地グルメの物販が主な内容のようですが、東京ドームのグラウンド内に300前後のブースが並び、いずれのお店も列をなしてにぎわっていたようです。ステージイベントでは日本各地の有名なお祭りが繰り広げられており、山形の花笠音頭も披露されたとのことでした。先日、山形市内で行われました東北六魂祭も大盛況だったようですが、祭りと食を結びつけたイベントは地域の魅力を広くPRする絶

好の機会であり、地域を訪れてもらうきっかけになるというふうに考えます。

今年度は長井市の東京事務所開設に向けて準備を進めているところですが、あわせて長井シティプロモーション推進事業をまち全体で取り組み、長井の持つ魅力を地域の内外に発信、展開することとしております。ふるさと祭り東京への参加につきましても、シティプロモーションを進める上で総合的に検討いたしまして、関係者と相談していただきながら判断したいというふうに考えておりますが、私はぜひこれは参加すべきだと。参加料なども十分元の取れる程度のものでありますし、東京の地場産センターの事務所があるということから、物販等も現在、大田区大森のダイシン百貨店で常設コーナーを長井市のブース持ってますし、それから、池上本門寺の朝市も定期的に長井の物販をしておりますので、長井の協力していただいている農家の皆さん、そして地場産センターの皆さんとできると思いますし、また、商工会議所内に地場食品の協議会があります。これは長井市が江戸川区民祭に毎年、江戸川区のほうから戦時中に疎開をしていただいていたということで桑の実会という会があるんですが、その方たちからの推薦もあって、もう10数年続けているイベントに私ども長井市としても参加しておりますので、その方たちとも相談しながら、ぜひ前向きに検討してまいりたいというふうに思います。

私のほうからは以上でございます。

○小関勝助議長 谷澤秀一企画調整課長。

○谷澤秀一企画調整課長 私のほうからは、ふるさと祭り東京の視察状況、それから、出展に係る要件などについてご説明させていただきます。

ことしの1月18日に、私は拝見しておらないんですが、イベントを視察した職員のほうから報告を受けたところでございます。会場への入場料は有料でございまして、1,500円かかっているということでしたが、その当日、土曜日と

ということもあったようで、相当な人出があったということです。主催者側の発表によりますと、1月10日から19日まで10日間、イベントが開催されたんですが、合わせて40万8,828人の来場者があったということでございます。出展の商品としては、ご当地グルメを中心とした飲食物がほとんどということでしたが、中には民芸品や工芸品、そういった販売によって地域の歴史、文化、そういったものを紹介しているということもあったということです。出展されている業者は民間の事業者が大部分を占めているということで、自治体単独で出展しているケースは少ないようでしたということです。

山形県内からも数店舗出展していたということですが、特に米沢の事業者さんで米沢牛ステーキ井というふうなものを出していたところが非常に人気があって長蛇の列をつくっていたということで、来場者による投票があったそうなんです。全国ご当地どんぶり選手権というところで米沢牛ステーキ井がグランプリを受賞したというふうなことだったようでございます。

次回のふるさと祭り東京につきましても、来年、平成27年の1月9日から18日までの10日間、やはり同じ東京ドームで開催されるということが決定しております。物販の一般ブースの出展料ですが、税別料金で35万円というふうなことでございます。また、演舞などでステージイベントというものもあるんですが、これは地域の伝統文化を紹介するようなよい機会となると思いますが、これについては出演の団体は主催者側が決定しているということで、一般からの出展は受け付けていないということでした。

そして、先ほど市長のほうからもありましたように、今年度から新たに進めております長井シティプロモーション推進事業、長井の魅力を首都圏に売り込むという事業でございますが、これには市民、NPO団体、商工会議所や観光協会、企業、行政などがそれぞれの担うべき役

割を認識しながら、協働した取り組みを進めるということにしておるところでございます。ふるさと祭り東京のイベント内容をこういった関係者の方々へも情報提供しながら、長井市を売り出し、知名度を上げるための手法の一つというふうなことで、今後も一緒になって協議してまいりたいなというふうに思うところです。以上でございます。

○小関勝助議長 10番、町田義昭議員。

○10番 町田義昭議員 答弁をいただきまして、ありがとうございます。

2番のほうから再質問をさせていただきますけれども、私も実際この状況をこの目で見ていないので、非常に説得力に欠ける質問で自分自身情けないなと思っているんですけども、テレビで紹介した時点で余りにもあの迫力にびっくりして、本当に自分も行きたいなと思ったくらいでしたので、たまたま企画調整課長と観光振興課長に出会うことができましたので、そのときお話をして、それに乗っていただいたということで、率直にいい祭りだと、宣伝にはもってこいだというようなお話を聞いて、来年には何かの機会ぜひこの目で見なけりゃいけないというふうに今実感した次第でございます。

市長は、私は無理に行けとか、そういうことは一切言っていないで、ただ、長井市のために、長井市の観光、あるいは長井市を全国に売っていくんだという姿勢を強調するとか、あるいはそうした方向で長井をアピールしていきたいということであるならば、それなりの費用対効果も十分考えられる状況だということではないのかなと今思ったんでありますけれども、ぜひ市民の皆さんから賛同いただければ参加していただければよろしいのかなと思ったし、やはり山形県でも楡引とか米沢とか、そういったところももう行ってるということね、それは現実ですから、やっぱりそれに乗りおくれないうことは大事なことでないのかなと、そう思っており

ますんで、別に特別1等賞になれとか先頭を切れということでもないんですけども、やはりオンリーワンだということだけでは長井市を売ることはできないだろうかと、私はそういうふうに思っています。やはり先頭に近い集団で行動しなければいけないものはいけないと、そのように思っておりますので、この点について市長からちょっと感想をお願いします。

○小関勝助議長 内谷重治市長。

○内谷重治市長 お答えいたします。

やっぱり祭りと食というのがこのイベントのテーマのようなんですけども、例えば商工会議所の青年部、あるいは青年会議所などがさまざまなこういったお祭りなどには積極的に参加して、以前、鍋、県内の出羽ぎゅう汁でしたっけか、あれで優勝したように、そういった意欲はあるわけですね。それをまたさらに進める意味でも、もちろん私どもも長井市内だけで盛り上がっているのもいいんですが、やっぱり県内とか、また今度さらに輪を広げて全国ということで、以前からB1グランプリに出れないかというようなことなどもいろいろあったようなんですが、なかなか出場の、B1グランプリの場合ですね、去年、おとしあたりから検討したんですが、出るまでにはかなりやっぱり乗り越えなきゃいけない壁があったようで、それに至っていないわけですけども、このふるさと祭りは、出場するやっぱり市民のそういう気持ちがあつて、そして私どもは地場産センターという素地があるので、そちらと、あとは例えば鍋の大会じゃなくて今回は井みたいですけども、そういったものに挑戦するやっぱり業界の皆さんの意欲があれば十分にいろんな意味で成果を上げられるというふうに思っておりますので、ワンブースが大体2間半ぐらいの奥行き、結構広いのかなと思って、私、見ました。ですから、そういった食品を井物を出してみたり、あとはプラス地元の特産品を販売もできますので、ぜひこういった

ことは必要なのかなと。もし商工会議所の地場食品の協議会あたりも参加したいと、あるいは長井市の飲食業組合なんかでも参加したいということであれば、2ブース借りてやれば結構効果があると思いますので、そういったことに対して例えば出展料の一部を市で補助出すぐらいは議会でもお認めいただけると思いますので、こういうことは積極的にやっぱり進めていかなきゃいけないというふうに思います。

幸いにも、雇用創造協議会ということで今、実践型の雇用創造協議会のほうに東京へのそういったプロモーションとか、あるいは新しい地場食品の特産物の開発などもございまして、それはそれで進めてますが、ことしと来年ともう1年ありますので、そういったことなども多分これにかかわることができるんじゃないかなというふうに思っていますので、ぜひ前向きに検討すべきだと思います。

○小関勝助議長 10番、町田義昭議員。

○10番 町田義昭議員 生かせるものはやっぱり最大限に生かしてほしいなど。そして、行政が先頭に立つということじゃなくて、やっぱり長井市全体でね、民間の力をおかりして市民ぐるみでそうしたものに組み込んでいくという姿が非常に大事なことのかなと今思った次第でございます。

余談ですけども、やはり私、大分長くテレビで見させていただいて、例えば青森だったらねぶたが出てくるのかなと、そう思っておったんですけどね、そうでなかったんですよ、八戸のお祭りが出てきたんですね。八戸のお祭りなんて知りもしませんでしたので、すごいお祭りがあったんですね。それが私たちには全然伝わって、まだきてないんですね。そういうことも何か違った発見ができるのかなと、そんなように思っております。

最初の第3次長井市環境基本計画ということで、非常に本来からいけばタイムリーな基本計

画になるわけでありまして、しかしながら、10数年来ずっと、20年前から、十五、六年前から出ているわけでありまして、なかなか長井市のような状況の中では、環境に対してはね、本当に恵まれ過ぎてということもありまして、関心の度合いが少なかったのかなとっておりますし、私自身も本当に関心を示さなかったというようなことで大反省はしてるんですけども、ここに来てそんなことを言っていられないなという、お尻に火がついたなという感じでありまして、本当に今の私たちが一生懸命やって考えていくことも大事なんですけども、これから長井市を担っていただけるような年代の方々が環境というものに対してさまざまな教養を身につけていくということは非常に大事なことなんじゃないのかなとっておりますし、やっぱり教育の中でも考えてほしいなど、そんなように思っております。

先ほどさまざまな衛生組合を中心にして啓蒙活動をされていると。一番手っ取り早いのが講演会だったんじゃないのかなと思いますけども、その講演会がここ2年ほど休んでいるよと。その理由はマンネリ化しているのではという、ちょっと私的には気になる言葉をいただいて、やはり環境問題に対する講演会というのは、私は継続してこそ初めて一つの成果が生まれるということであって、休んではいけないことではないのかなと、そういうふうに今思っています。特にやはり環境といってもさまざまな分野の環境テーマがありますので、そういう先生を呼ばるにしたってさまざまな分野のチョイスするとか、そういうものが考えられないのかなとっております。また、財政的に、それは財政負担があるから大変だということで講演会が休まれているのか、その点についてちょっとご意見をいただきたいと思っております。

○小関勝助議長 内谷重治市長。

○内谷重治市長 マンネリ化してるということの

答弁をさせていただいたんですが、一つは関係者だけの集まりだと。衛生組合連合会の役員だけ、しかも予算がほとんどないということでのマンネリだというふうに思います。それで、やはり環境というよりも衛生組合のほうで今までは自主的に行っていたんですが、衛生組合連合会への補助というのも行革の中でほとんどなくしてしまったので、これもひどい話ですが、やっぱりそうせざるを得なかったんですね。本当に、やっぱり振り返ってみますと大変だったと思います。特に衛生組合連合会、ちょっと別な話なんで恐縮ですが、県の組織まであるわけですね。市町村の衛生組合連合会あって、置賜があって、県があって、県に出る場合は上納金があるわけですよ。その上納金が入らないので長井市だけやめてくださいということは何年間かお願いしましたんで、そのぐらいやっぱり大変だったんですね。ですから、そここのところが行革終わった後、少しずつとにかく必要なものはつけましようということで、担当者中心に検討いただいておりますが、まだまだそこが復元されてないと。あと、行革の中で職員をかなり減らしたもんですから、多分15年、20年前は担当の職員がいて、ある程度余裕持っていたと。ところが、今は担当者が前の1.5倍ぐらいの業務量持ってるんで、そこまで手が回らないとか、そういう課題があったのかなと。

したがって、来年度以降はもう少し、やっぱり衛生組合連合会だけではなくて市全体として考えていくべきだと思いますが、この件について、ちょっと時間いただいて、市民課長のほう……。いいですか。はい、わかりました。以上です。

○小関勝助議長 10番、町田義昭議員。

○10番 町田義昭議員 やはり衛生組合に頼ってきたということも別に悪いと言ってるんじゃないんで、やっぱりもっと広範囲に、環境問題なんていうのはそれこそ無限大のテーマなもんで

すから、いろんな団体を捉えてやっていく必要があると思いますけども、それにつけても、やはり予算をつけていただかないとどうしようもないなということなんでしょう。

それで、今、地域に安全・安心推進協議会とか、そういうものがあちこちに設立されて、長井市でも75ほどね、できてるんで、お聞きしておりますので、そういうところをお願いしていくとかいろんなことが方法あると思いますので、前向きに視点を変えて、予算をつけていくという方向でお願いをしたいなど、そんなように思います。

LEDに関しては順調に計画どおり進んでるというようなお話でありますので、これはよしとしまして、都市公園の、簡単に言うとつつじ公園とあやめ公園でありますけども、つつじ公園に関してはツツジが終わってから、二、三日前にちょっと眺めてきまして、非常に天気もいい日だったのでオカリナの練習をしている中年の男性がいて、非常によく伝わってきましたので私も15分ほど聞き入って、いいなと思いました。そんな中で噴水も底が見える状態で、去年はあそこへ行くとむっとして異臭が漂っていたというふうに記憶しております。ことしは非常に底まで見えてきれいで、そして小学3年生、4年生ぐらいの女の子が2人で、あそのせせらぎではだしになってずっと渡っておったもんですから、去年これできたかって聞いたら、去年汚くて入れなかったよなんて楽しそうに、気持ちいい気持ちいい言うて。ただし、やっぱりちょっと天を仰ぐと、怖いほどの樹木が、元気よ過ぎてね、それは市長もわかっているんでしょうけども、やはり憩いの場になるには、それなりのちょうどいい状態というのは必要だと思うんですね。ちょうどいい状態。ぜひ視点を変えて、長井市の集える場所をいい環境につくってほしいなど、そういうふうに思いました。

それから、287号線からあやめ公園まで行く通りですけども、これは街路樹として管理しているのか、いわゆる何々並木とか何々通りってあるんですよね。例えば仙台の定禅寺通りのケヤキ並木とか、そういうふうな捉え方をしているのか、どっちなんですかね。そこ、市長いかがですか。

○小関勝助議長 内谷重治市長。

○内谷重治市長 ケヤキ並木というんですかね、それで何であんな木したんだという、今回、町田議員のご質問いただいたものですから、担当課と関係する課と集まって一般質問の打ち合わせをさせていただいてたんですが、なしてあんがなどこさしたなやと。あそこは緑町と横町にかかわって、十日町も一部、十日町は入らないのかな、舟場のほうでは危ないからって切らせてもらったわけですね、あれ県道のほうですけども。そしたら、切ったら切ったですごくお叱りを受けたわけですけども、地元の人たちはとにかく危険だし管理も大変だということで切ったんですが、なぜあんがな木植えたんやと聞いたら、その当時はできるだけ早く成長する木がいいということだったんだそうですね。今だと成長過ぎて困るわけですね。切るにもすごくお金がかかるということで。

あとは町田議員からも以前からも指摘あった、例えば百間道路の並木なんかは、中が空洞化になってね、折れて事故まで起きたわけですけども、とにかく街路樹の剪定というのは非常に難しいと。担当課は、これからは街路樹は植えないって、植えたくないって、こう言うわけですね。それはなぜかという、管理費がかかる。それはおかしいだろうと私は言ったわけですよ。だけど、緑は長井はいっぱいあっからいいんだと、道路なんかは緑なくていいんだと言うんですが、果たしてどうでしょうか。私は必要だろうと。ですから、そこんところがですね、さっきの管理も含めてですが、やっぱり私ども行革をして

きたもんですから、何かあるとすぐ費用対効果と、こういうようになるわけですね。あと管理費がかかる。そのとおりなんです、それと我々市民から見て本当にほっとする、あるいは、外から来た人が緑が美しくってというのはやっぱり道路沿いなんですよね。そんなことで考えてまして、あそこが並木というんじゃなくて、できるだけ雰囲気の良いまちにしたかったんですけども、結果としては大木の並木になってしまったというのが実態だと思います。

○小関勝助議長 10番、町田義昭議員。

○10番 町田義昭議員 一概にね、こうしろあしろと言うつもりはさらさらないんですけども、やはり計画性を持って、こういう方向に行くんだとか、こういう公園をつくりたいんだというようなことを市民の皆さんに発信していただければ、市民の皆さんも10年後はこういう公園になるなとか、また街路樹もこういうふうになるなというようにすることで楽しみにしているという部分も出てくると思いますので、そんなまちづくりを期待させていただいて質問を終わりたいと思います。ありがとうございます。

赤間泰広議員の質問

○小関勝助議長 次に、順位7番、議席番号1番、赤間泰広議員。

(1番赤間泰広議員登壇)

○1番 赤間泰広議員 公明党の赤間泰広でございます。通告書に従いまして質問をさせていただきます。よろしくお願ひ申し上げます。

昨年度、3月と6月の定例会にもご提言をさせていただきました。実施すること、ご理解が得られないまま1年が過ぎてしまいました。まことに残念であり、私の非力さを痛感しております。